

美々川だより

Bibigawa News Letter Vol.9

平成 25 年 11 月発行
発行 / 北海道室蘭建設管理部

『駒里中学校～2013 水質調査隊～』が開催されました

室蘭建設管理部（旧室蘭土木現業所）では、平成 18 年度より広く美々川・ウトナイ湖を知ってもらうことを目的として、さまざまな地域活動を行っています。今回は昨年度に引き続き、千歳市立駒里中学校の皆さんと一緒に美々川-ウトナイ湖を対象に環境学習を行いましたので、その結果をお知らせします。

去る 10 月 3 日（木）『駒里中学校～2013 水質調査隊～』が開催され、生徒 8 名と教職員 5 名が参加しました。

『駒里中学校～2013 水質調査隊～』は、駒里中学校での総合的な学習『調査研究』部門を通じて、美々川周辺の自然環境について理解を深めようと、室蘭建設管理部が協力して行っている地域活動の一つです。

ウトナイ湖では、札幌市立大学の矢部教授の同行のもと水質調査を行い、湖岸部の湿地植生の現状と課題について学習しました。また、室内では北海学園大学の余湖教授、室蘭建設管理部から美々川-ウトナイ湖の歴史や文化、自然環境の現状と課題等について学習しました。



場所	時刻	内容
駒里中学校	8:35	開会式
ウトナイ湖	9:30	水質調査・水質指標生物の採集
	10:30	ウトナイ湖岸部の湿地植生に関する学習
駒里中学校 (理科室)	12:00	昼食
	13:00	水質指標生物の分類・同定作業
	14:00	室内 学習 美々川-ウトナイ湖の自然環境 美々川-ウトナイ湖の歴史
	15:00	閉会式



こんな体験・学習をしました

水質調査(パックテスト・水質指標生物の採集)

ウトナイ湖で水質調査(パックテストと水質指標生物の採集)を行いました

午前中はウトナイ湖にて、パックテストによる水質分析(化学的な水質調査)と水質指標生物の採集を行いました。

1グループ3人に分かれて、水を採取する人、パックテストをする人、計測結果を記録する人などとそれぞれの役割を決めて、手際よく水質調査を実施しました。

また、タモ網での水質指標生物採集では、たくさんのお魚を捕まえることができましたが、季節的に遅かったこともあり、水質指標生物を確認することができませんでした。

生徒達は、何とか水質指標生物を採取しようと、水際の植生帯のくぼみを狙って「ガサガサ」し、足が濡れるのも構わずに時間を忘れて熱中していました。



ウトナイ湖岸部の湿地植生に関する学習

ウトナイ湖岸部の湿地植生の現状と課題について学習しました

水質調査の後は、札幌市立大学 デザイン学部の矢部 和夫教授から、ウトナイ湖岸部の湿地植生の現状と課題について、現地での説明をして頂きました。

ウトナイ湖にはエゾリンドウという貴重な湿生植物が生育するなど多様な生態系が形成されていること、しかし、湖水位低下に伴う乾燥化が進んでおり、湿地環境が悪化していることなどについて学ぶことができました。

樹林内の木道にてやぶ蚊との悪戦苦闘もありましたが、普段教わることのない大学の先生の授業ということで、生徒達はいつも以上に真剣な顔つきで、「見て・聞いて・触って」という体験学習ができました。



魚類の分類・同定作業

ウトナイ湖で採集した魚類の分類・同定作業を行いました

駒里中学校に戻り、給食を食べた後は、理科室にて午前中に採集できた魚類の分類・同定作業を行いました。

魚類の分類・同定には、駒里中学校所蔵の魚類図鑑やインターネットを用いました。生徒達は、体長やヒレの形などの形態的特徴や斑点や模様等を手掛かりに、図鑑・画面と実物を見比べることで、採集した魚類を分類・同定することができました。

採取した魚類は肉食性魚と草食性魚とに区分し、駒里中学校の理科室の水槽に移し替え、みんなで協力して大切に飼育することにしました。



スライドによる室内学習

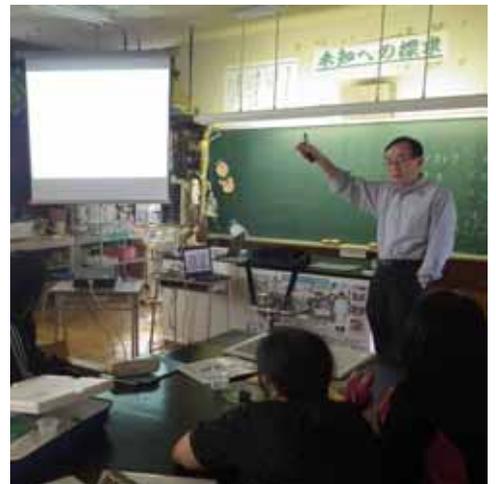
美々川-ウトナイ湖の歴史、自然環境について学習しました

魚類の分類・同定作業の後は、駒里中学校の理科室で、スライドを用いた室内学習を行いました。

室蘭建設管理部からは、「美々川-ウトナイ湖の自然環境」として、駒里周辺の地層、美々川と湧き水の関係、美々川に生息する魚や植物、美々川の昔と今の様子、自然再生の取り組み等について説明を行いました。

次に、昨年度に引き続き、北海学園大学 工学部 社会環境工学科 余湖典昭教授から「美々川-ウトナイ湖の歴史」について説明していただきました。美々川-ウトナイ湖は、古くは太平洋岸から日本海岸に抜ける河川交通路（勇払越え）として利用されてきたこと、船上から見た景色は日本の原風景と歌に詠まれていることなど、歴史・文化を学ぶことができました。

また、昨年度の宿題の答え合わせがあり、生徒達は水質を指標として、駒里周辺の地層・湧き水・美々川の関係性について学ぶことができました。



アンケート・感想

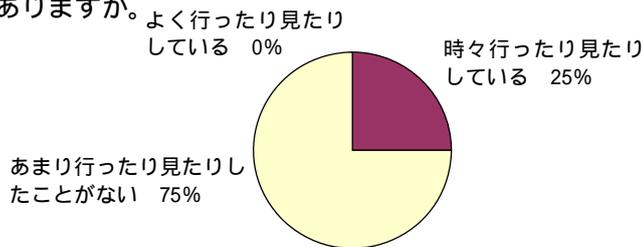
美々川・ウトナイ湖についての日頃のイメージや、活動の感想を聞きました

最後に今日の感想、美々川に対しての日頃の印象、今後学んでみたいことなどについて、生徒と先生にアンケートに答えていただきました。

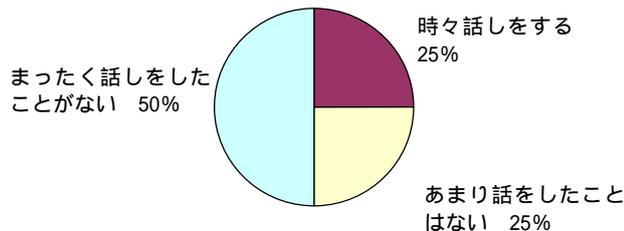
美々川-ウトナイ湖の環境や生育・生息する生物についてもっと知りたい、美々橋周辺でクサヨシの刈り取りを体験してみたい、源流部に行ってみたいとの声を聞くことができました。

生徒たちの主なアンケート結果

普段、美々川やウトナイ湖へ行ったり、見たりすることはありますか。よく行ったり見たりしている 0%

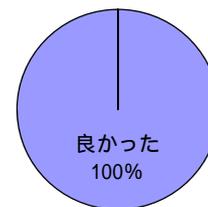


家庭や学校で、美々川やウトナイ湖の話をするのはありますか。

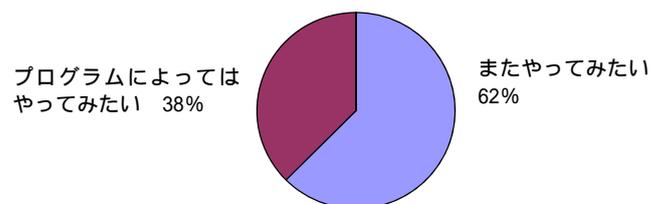


今日の学習会の全体的な感想はどうでしたか。

普通だった 0% よくなかった 0%



今回の学習会をまたやってみたいと思いますか。



生徒たちの主な感想

- ・ 人が増えるとその分家畜が増えて、川や自然に影響があるから、人の行動は自然界に大きな影響をもたらすことがわかって、本当にいい勉強になりました。
- ・ これからもこのような自然のことを考える行事は大切なことだと思うので、是非続けて行ってほしいです。
- ・ 美々川を昔のようにするために取り組んでいること、取り組んだことを知りたいです。
- ・ 今回、学習会に参加して美々川の源流が汚いということに驚きました。源流はキレイというイメージがあったし、見た目もキレイだったので、びっくりしました。
- ・ ネットで調べている時や魚を見ている時が楽しかったので、水中の生き物についてもっと知りたいです
- ・ 今回はウトナイ湖に行かせてもらい、特別に入れたこと自体貴重な体験だったと思います。はじめて見る景色にわくわくしたし、植物についてお話を聞いたのもおもしろかったです。
- ・ 美々川の関わる北海道の歴史の話が好きでした。これからも歴史についても学んでみたいです。
- ・ 危ないと思いますが、美々川の源流に行ってみたいです。他には、胴長を着て川に入ったり、ボートに乗ったり、川を中心の方に行ってみてみたいです。

おわりに

今回の活動を通して、生徒の皆さんが住んでいる駒里周辺をはじめとする美々川には緑豊かな自然環境が残っていること、しかし、土地利用の変化により環境悪化が進行していること、また、「勇払越え」のルートとして昔から利用される等の歴史・文化を持つことなどについて知って頂けたのではないのでしょうか。

今回の地域活動の結果を活かし、今後も、かつての自然豊かな美々川を取り戻すために様々な取り組みを行っていききたいと思います。

今後の予定

室蘭建設管理部では、今後も地域の皆さんの協力を得ながら、地域の小中学校を対象として、川歩き・魚すくいなど、遊びを通して美々川流域の自然環境を学ぶ機会を提供できるプログラムを継続的に実施していきます。

